

令和8年7月実施(2026)

学校給食に関する一般市民アンケート

結果報告書

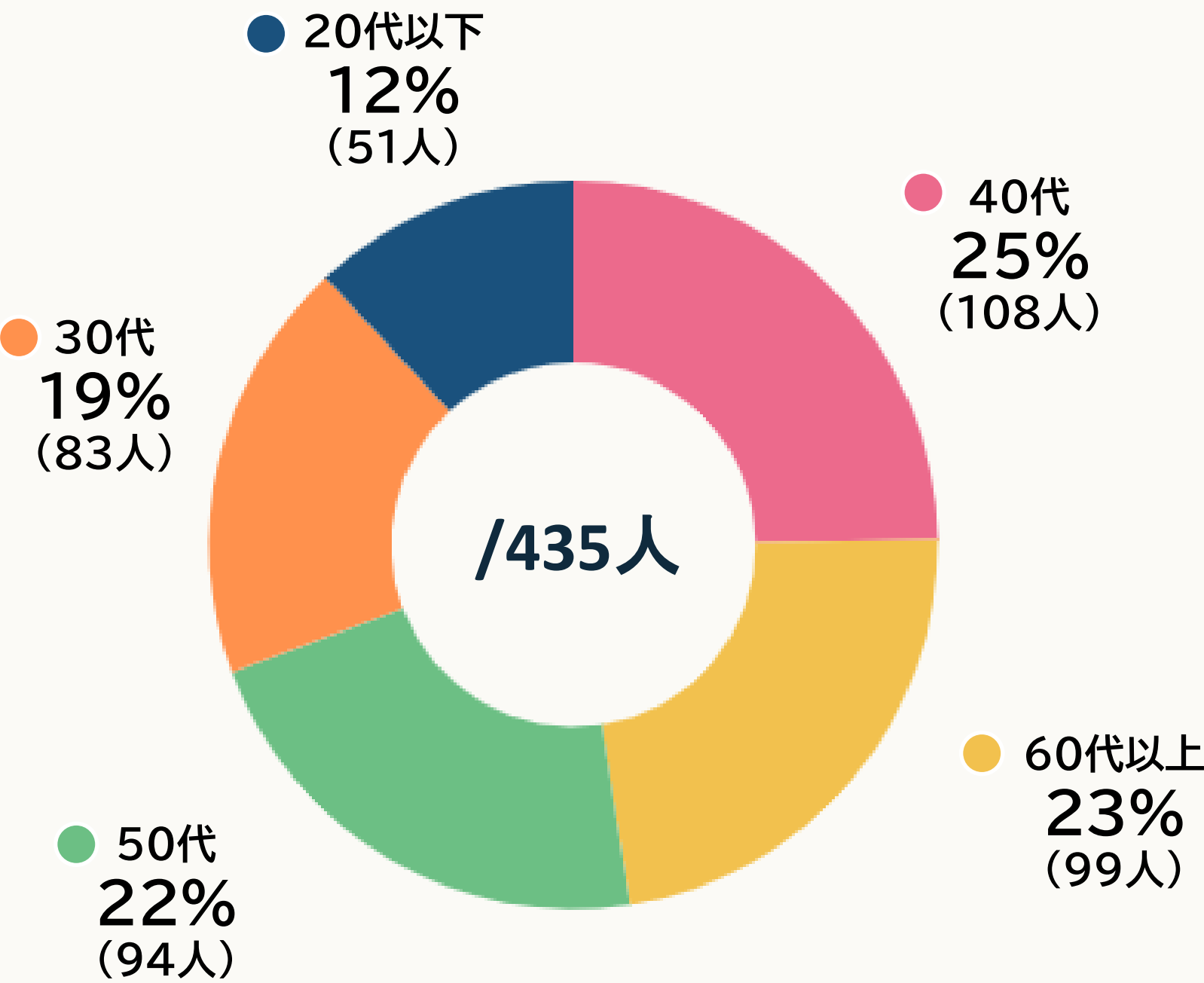


四国中央市教育委員会 教育総務課

1. 調査対象 : 一般市民
2. 配布人数 : 市公式LINE配信登録者17,340人
3. 実施時期 : 令和8年7月1日～7月31日(回答締切)
4. 実施方法 : ①市公式アカウントLINEに登録している市民全てにLINE配信
②市教育委員会ホームページより無記名回答
5. 回答数 : 435 件
6. 回答率 : 約3% (435件/17,340人)
7. 調査目的 : 給食費無償化の評価や、無償化に対する意向などを把握するため

■ 回答者年代

問1. 回答される方の年代を教えてください。

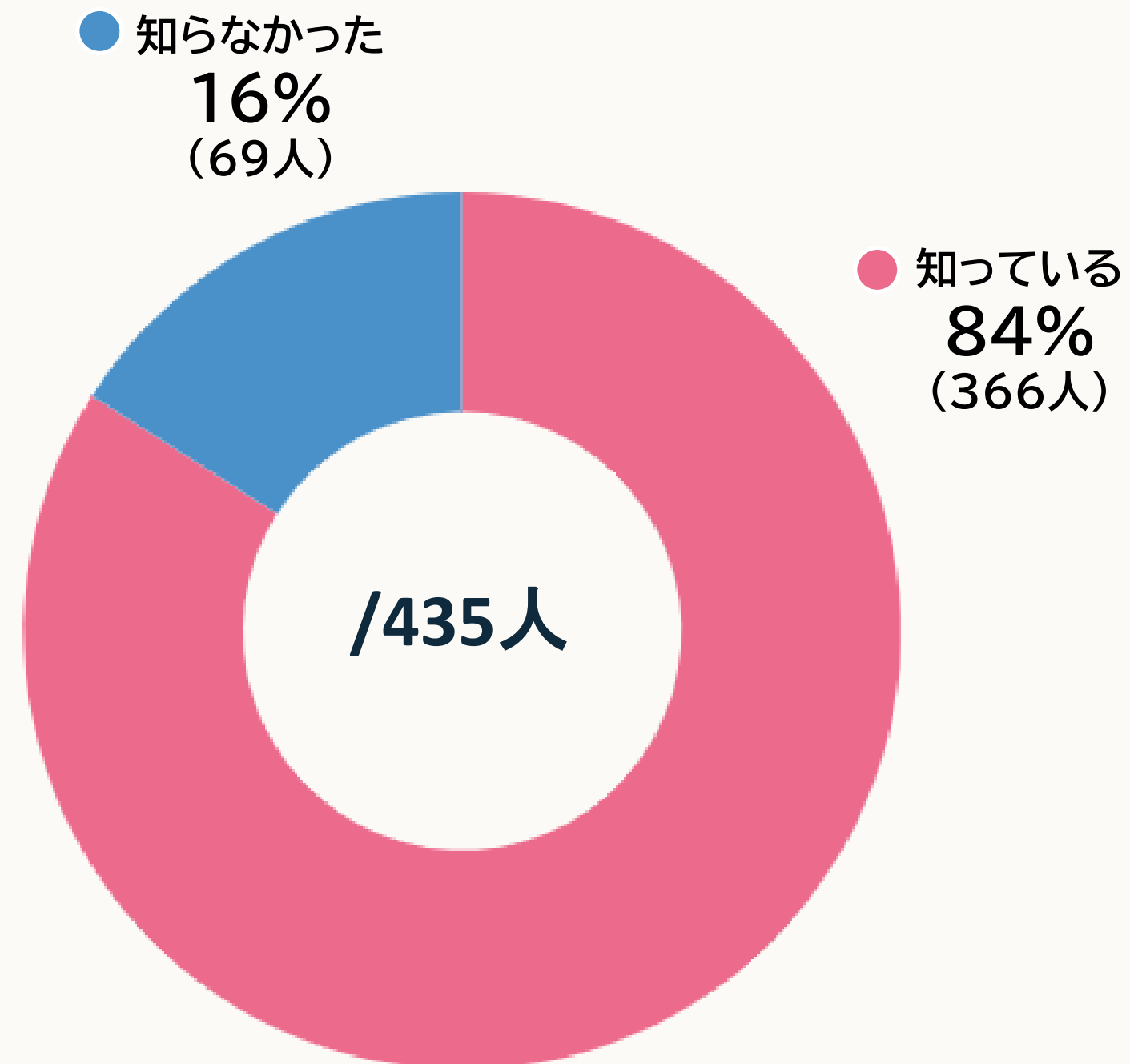


・幅広い年代からバランスよく意見を収集
でき、**全世代の声**を反映。

- 20代以下
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

■ 給食費無償化の認知度

問2. 四国中央市の学校給食費が無償になっていることを知っていましたか。



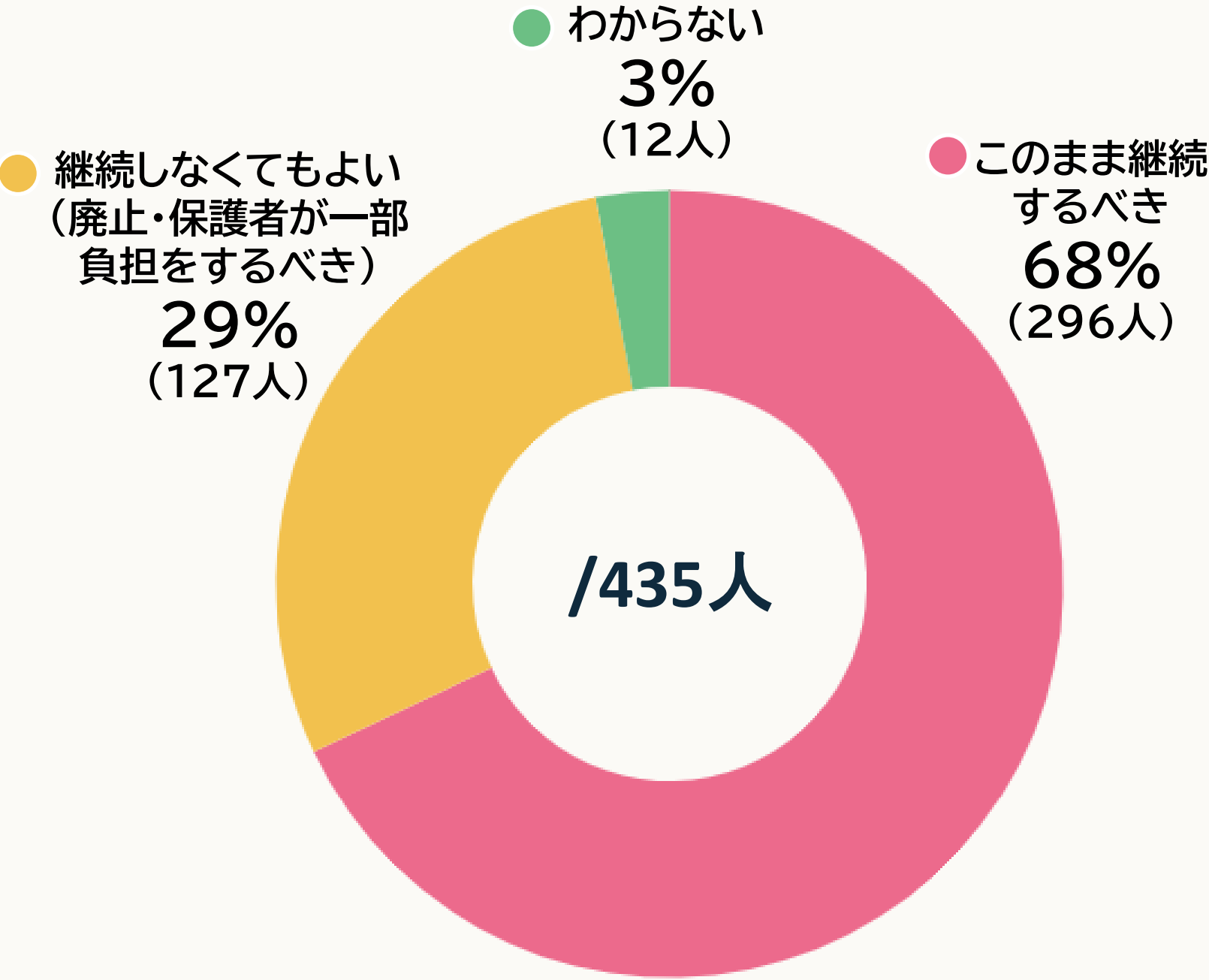
・無償化の制度は**認知度84%**と、概ね浸透している。

・「知らなかった」と回答した16%の人のうち、20代以下、50代、60代に未認知が一部存在。

● 知っている ● 知らなかった

■ 学校給食費無償化の継続に関する賛否

問3. 今後も無償化の制度を継続すべきだと思いますか。



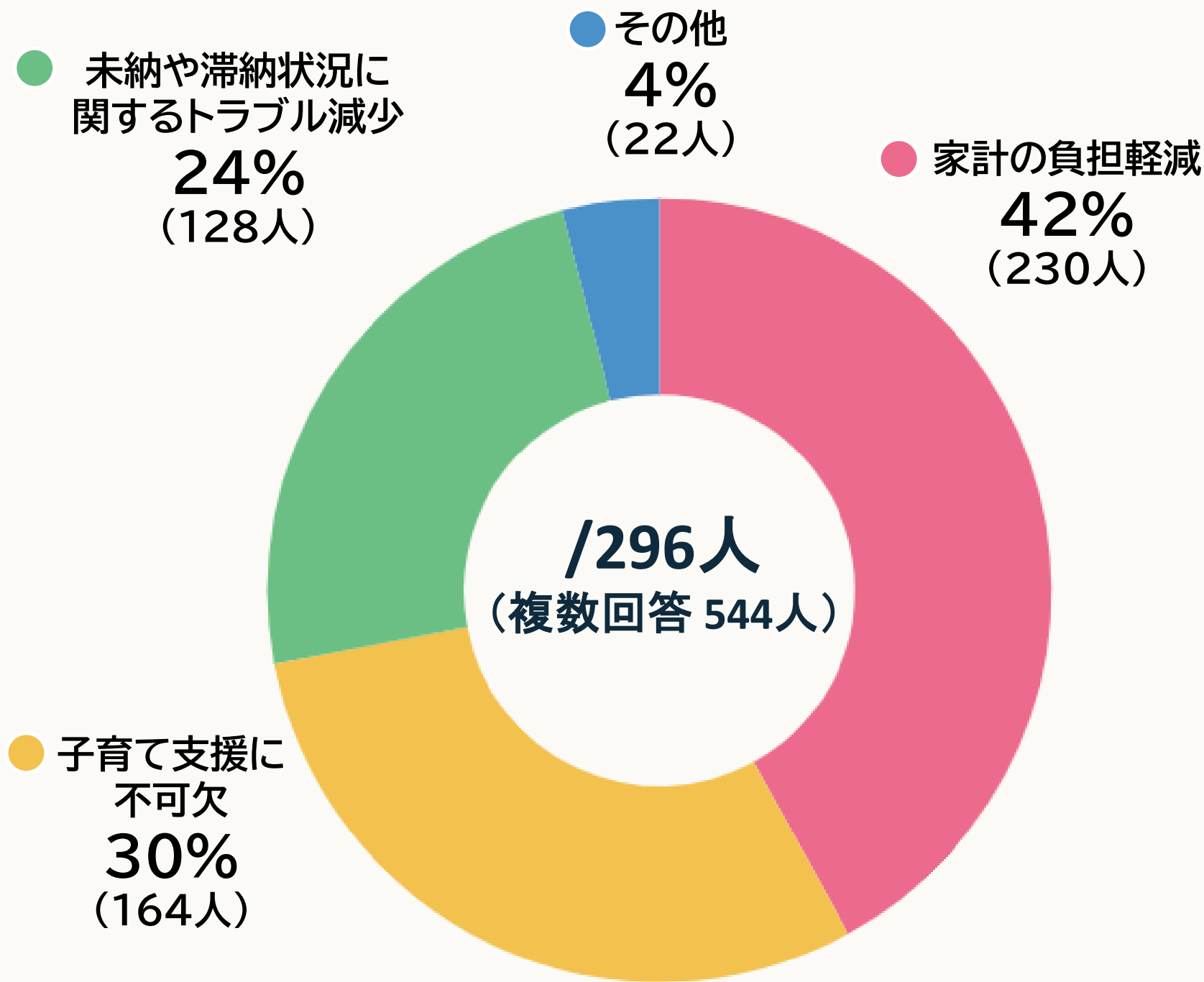
・約70%が継続を支持。

・一方で約30%は財源や質への懸念が根強い。

- このまま継続すべき
- 継続しなくてもよい (廃止・保護者が一部負担をするべき)
- わからない

■ 継続を希望する理由

問4. 問3で「このまま継続するべき」を選択された方にお聞きします。
その理由は何ですか。(複数回答可)



- ・「家計の負担軽減」が約42%
- ・子育て支援・未納減少も高評価。

- 子育て世帯の家計の負担が軽減されるため
- 本市の子育て支援策として必要不可欠だと思うため
- 無償化により未納や滞納状況に関するトラブルが減少するため
- その他

＜問4. その他の自由記述＞ 回答数:22人

継続を希望する理由(要点まとめ)

1.子どもの健康と安心を守るため

- ・栄養バランスの取れた食事を確実に提供できる。
- ・給食が主要な栄養源になっている子どもへの支援。

2.家庭の経済的負担を軽減し、格差や不公平をなくすため

- ・経済状況に関係なく同じ給食を食べられる公平性。
- ・低所得世帯の負担軽減になっている。

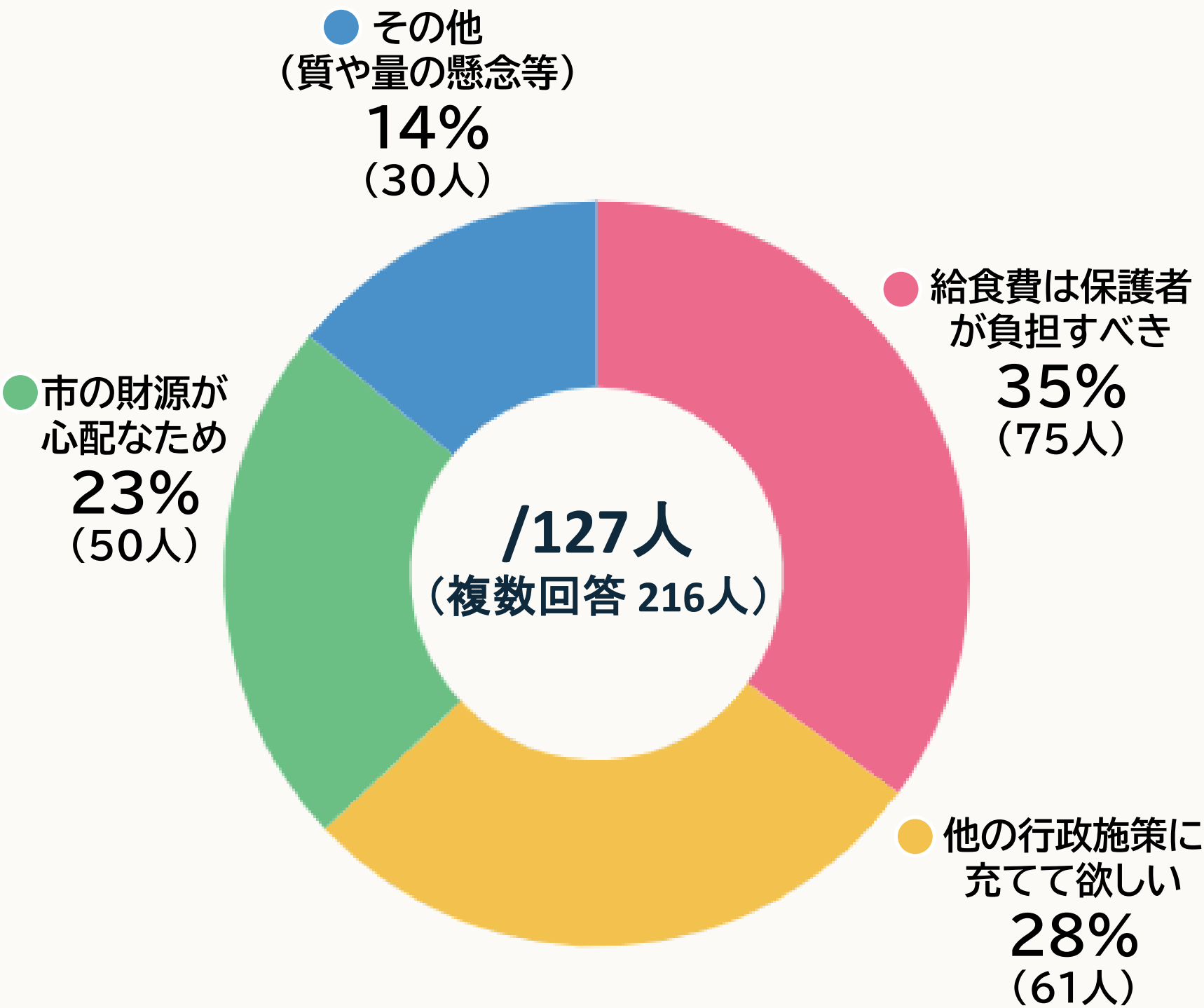
3.子育て支援として自治体の価値を高め、学校現場の負担も減らすため

- ・子育て世帯に選ばれる町づくりにつながる。
- ・準要保護などの事務負担が減り、学校現場の効率化につながる。

「自治体の魅力向上と、現場の負担軽減」という視点の意見が多い

■ 見直し・反対の理由

問5. 問3で「継続しなくてもよい」を選択された方にお聞きします。
その理由は何ですか。(複数回答可)



- ・「給食費は保護者が負担すべき」という受益者負担の考え方を重視する意見が35%
- ・財政の持続可能性や、給食の質の懸念は、見える化等による説明が必要。

- 給食費は保護者が負担すべきと思うため
- 無償化よりも他の行政サービスや他の施策にお金を使ってほしいため
- 無償化を継続することにより、今後の市の財源が心配なため
- その他

<問5. その他の自由記述> 回答数:30人

継続しなくてもよい理由(要点まとめ)

1.財政負担が大きく、完全無償化の継続が難しいという懸念

- ・無償化を続けると給食の質や量が落ちるのではという不安視。
- ・公費だけで賄うのは限界があり、一部負担はやむを得ない。



「財政的に持続できない」
「質が落ちるなら一部負担すべき」という意見が多数。

2.給食の質・量が低下している(または低下する不安)

- ・パンの回数が減るなど献立の内容に影響している。
- ・栄養や地産地消を守るためには一定の負担が必要。



「無償化で質や量が下がるなら、負担してでも改善してほしい」という声が多い。

3.全家庭一律無償ではなく、負担能力に応じた仕組みが必要

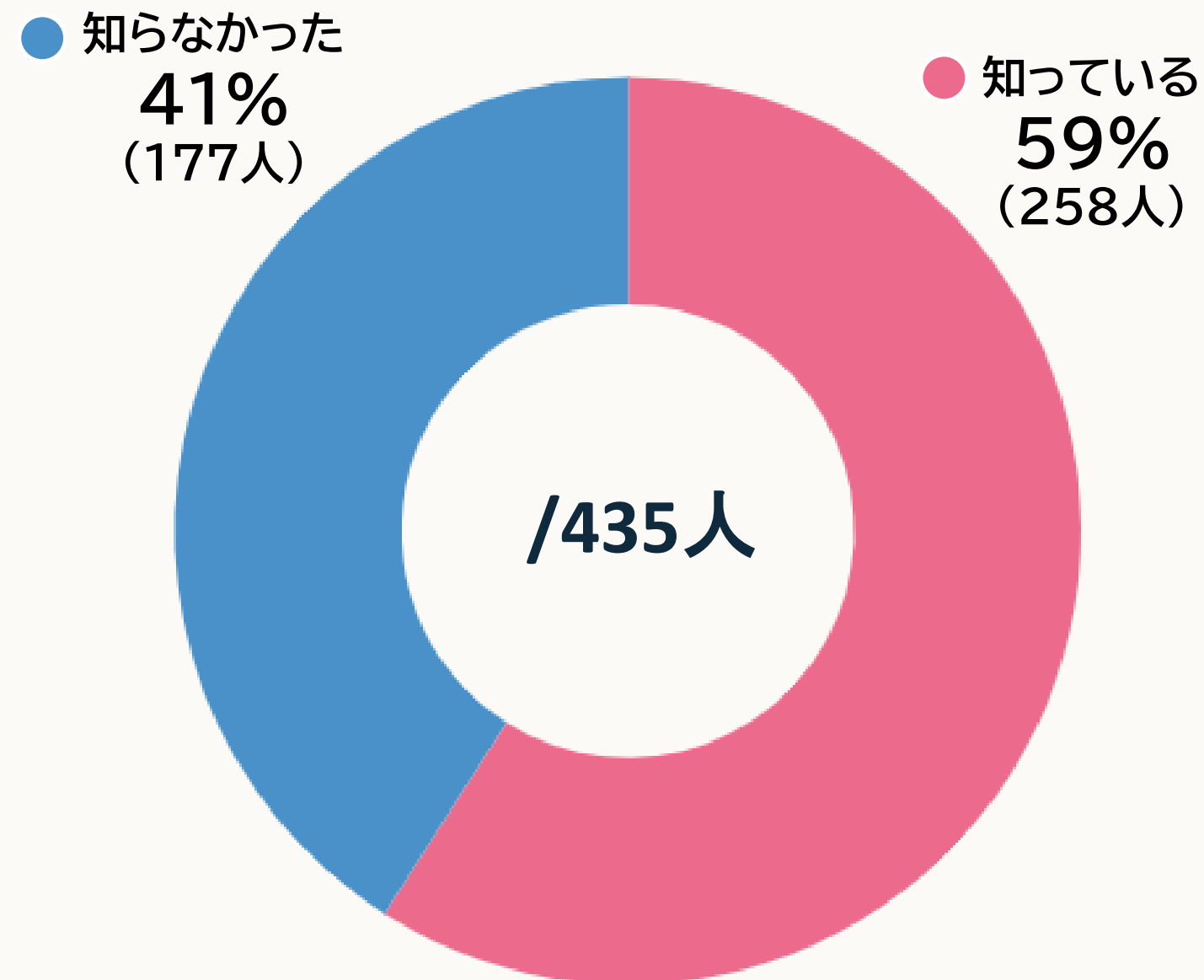
- ・低所得世帯は無償でよいが、一定所得の家庭は一部負担すべき。
- ・親が子どもの食費を負担するのは本来の責任という考え。



「公平性の観点から、全員無償ではなく、世帯状況に応じた負担を」という意見

■ 地産地消の認知度

問6. 本市の学校給食における地産地消の取組の一つとして、地元産米「うまそだち」を使用していることを知っていますか。



・認知は約60%

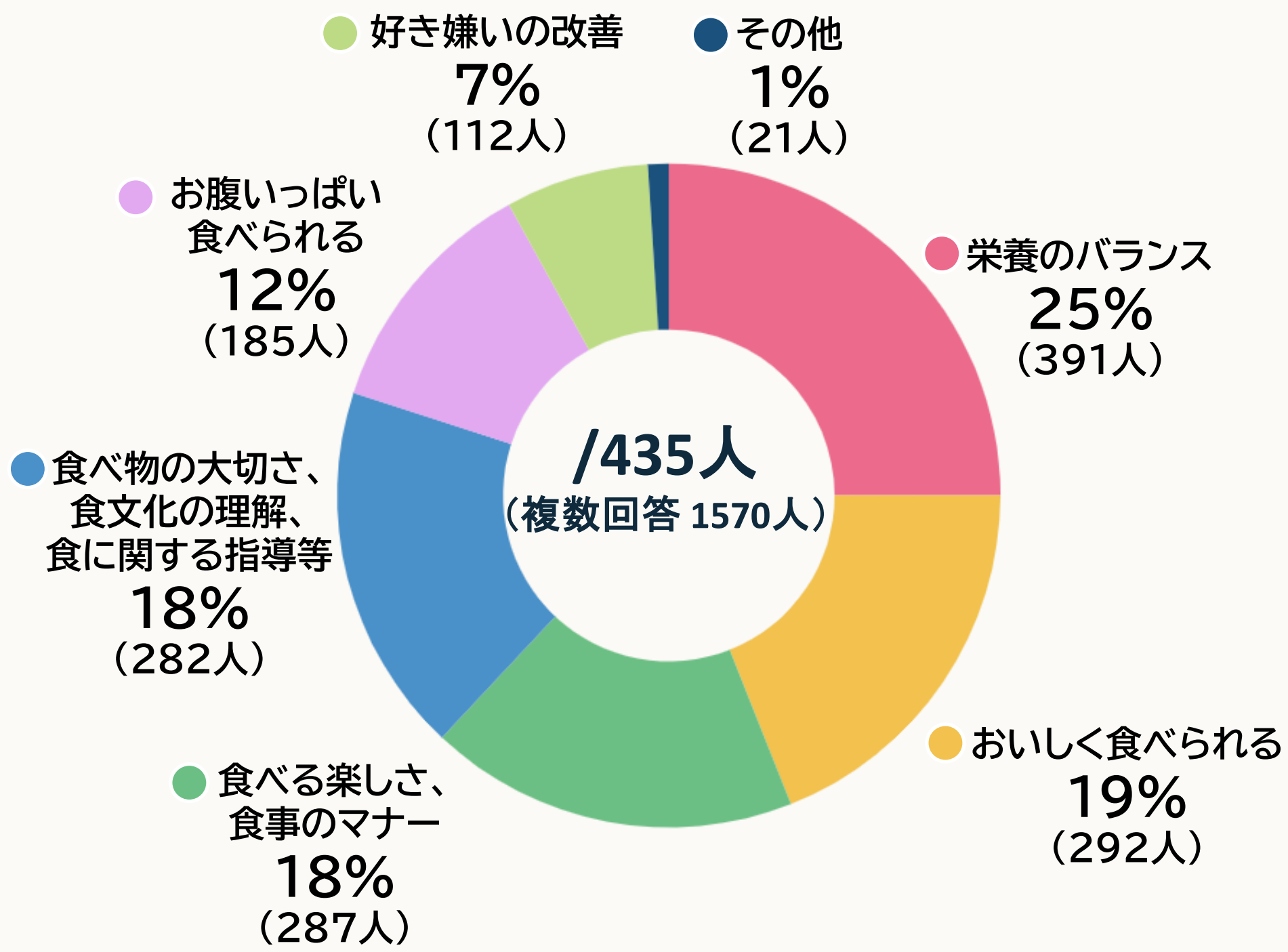
・自由記述でも「地元食材を増やしてほしい」等の期待が多く、さらなる周知が必要。

● 知っている

● 知らなかった

■ 学校給食に求める重要性

問7. 学校給食において、重要だと思うことは何ですか。（複数回答可）



・栄養と味の両立が最重要。

・食育・マナー形成の場としての役割も強く期待されている。

- 栄養のバランスが取れていること
- 子どもがおいしく食べられること
- みんなで食べる楽しさや、食事のマナーなどを身につけること
- 食べ物の大切さや地域の食文化を理解するなど、食に関する指導が行われること
- 子どもがお腹いっぱい食べられること
- 好き嫌いが改善されること
- その他

<問7. その他の自由記述> 回答数:23人

学校給食で重要だと思うこと(要点まとめ)

1.安心・安全で栄養のある食事を提供すること

- ・安全な食材・調味料・国産食材の使用。
- ・忙しい家庭でも栄養が偏らない。



「安全で、栄養があり、十分な量の給食を提供すること」が最も多い意見。

2.食育・感謝の心・地域とのつながりを育むこと

- ・地元の食材や郷土料理を知る機会になっている。
- ・給食が思い出や体験として子どもの成長につながる。



「食育としての価値」「感謝の心を育てる場」という意見が多い。

3.家庭状況に応じた負担や給食制度の理解を深めること

- ・保護者が一定の負担をすることで食の大切さを理解できる。
- ・給食費の仕組みや費用、関わる人の労働を学ぶこと。



「給食制度や食の価値を理解し、適切に支えること」への意見も複数。

自由記述の要点まとめ 一般市民の声① 回答数:153人

1.安心・安全で、栄養のある「質の高い給食」を求める声

- 量が少ない、質素になった、品数が減った
- 国産食材・オーガニック・安全な調味料を使ってほしい
- 温かい給食、自校式の良さを評価する声
- アレルギー対応や不登校児への提供など、誰も取りこぼさない仕組み
- 成長期の子どもに必要な栄養をしっかりと確保してほしい

→「無償化よりも、まずは質と安全を守ってほしい」という強い意見が多数。

自由記述の要点まとめ 一般市民の声② 回答数:153人

2.給食が子どもの成長・食育・思い出にとって重要という肯定的な声

- ・給食のおかげで食べられる食材が増えた
- ・友達と食べる体験が思い出になる
- ・地産地消や郷土料理を学べる
- ・作り手への感謝の心が育つ
- ・家では食べないものに挑戦できる
- ・給食は子どもの楽しみであり、生活の一部

→「給食は教育であり、思い出であり、子どもの成長を支える大切な時間」という
評価が圧倒的。

自由記述の要点まとめ 一般市民の声③ 回答数:153人

3.無償化はありがたいが、財政や公平性への懸念

- ・財政が厳しい中で完全無償化は難しい
- ・質が落ちるくらいなら一部負担したい
- ・所得に応じた負担や、ひとり親への配慮が必要
- ・無償化で残食が増える懸念
- ・給食費未納によるいじめ防止のため無償化を支持する声もあり
- ・給食費は本来親が払うべきという意見も一定数

→「無償化は助かるが、財政・公平性・質の確保をどう両立するか」が大きな論点。

まとめ



学校給食費無償化は、一般市民・保護者ともに強い支持を得ており、家計負担の軽減と子育て支援として大きな効果を発揮している。

一方で、給食の質・量の確保、財政の持続可能性、公平性への懸念が共通して示されており、制度の目的や給食の質が無償化と無関係であることを丁寧に説明する必要がある。また、食育や地産地消の価値は高く評価されているが、周知不足が課題であり、個別ニーズへの対応や学校環境の改善も求められている。

これらを踏まえ、無償化の継続と質の維持、財政の見える化、食育の充実を一体的に進めることが重要である。